

## ピログルタミン酸アミノペプチダーゼ (**Pyrococcus furiosus**由来、組換え)

Cat. No. NATE-0648

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### 概要

ピログルタミン酸アミノペプチダーゼは、タンパク質を消化する酵素です。この酵素はN末端ピログルタミン酸に特異的です。エドマン分解の前に、タンパク質やペプチドからN末端ピログルタミン酸を切断します。最適温度範囲は95-100°Cで、最適pH範囲は6.0-9.0です。

#### 用途

熱安定性アミノペプチダーゼで、エドマン分解の前にタンパク質やペプチドからN末端ピログルタミン酸を解放します。ピログルタミン酸アミノペプチダーゼは、*Pyrococcus furiosus*由来の組換え型熱安定性アミノペプチダーゼで、*Escherichia coli*で発現されています。これはピログルタミン酸を切断するために使用され、ペプチドのN末端配列の分析を可能にします。Creative Enzymesの酵素は、精製されたカッシコリンのN末端配列決定の前に、還元条件下でピログルタミン酸(pGlu) N末端プロッキンググループを除去するために使用されました。

#### 別名

ピログルタミルペプチダーゼ I; ピログルタミン酸アミノペプチダーゼ; EC 3.4.19.3; 5-オキソプロリルペプチダーゼ; ピラース; ピログルタミン酸アミノペプチダーゼ; ピログルタミルアミノペプチダーゼ; L-ピログルタミルペプチドヒドロラーゼ; ピロリドンカルボキシルペプチダーゼ; ピロリドンカルボキシレートペプチダーゼ; ピロリドニルペプチダーゼ; L-ピロリドンカルボキシレートペプチダーゼ; ピログルタミダーゼ; ピロリドンカルボキシルペプチダーゼ; 9075-21-2

### 製品情報

#### 種

バイロコッカス・フリオーサス

#### 由来

*E. coli*

#### 形態

リン酸ナトリウムを含む凍結乾燥粉末

#### EC番号

EC 3.4.19.3

#### CAS登録番号

9075-21-2

#### 分子量

mol wt 24.072 kDa by amino acid sequence mol wt 28 kDa by SDS-PAGE

#### 活性

> 0.11 ユニット/mg タンパク質

#### 最適pH

6.0から9.0

#### 最適温度

95から100°C

#### 単位定義

1ユニットは、37°CでpH 7.0の条件下で、1分あたり1μmolのピログルタミン酸p-ニトロアニリドを加水分解します。

### 保管・発送情報

#### 保存方法

-20°C